

ボラセンかわら版

ボラセンではボランティア登録、募集の相談、ボランティア保険等の相談を常時受け付けて

かみごとサロン	1区	小姓内集会所
ほのぼの会	1区	新栄集会所
玉井戸サロン	2区	下町集会所
なかよしサロン	3区	玉泉寺会館
寺西サロン	3区	改善センター
中森サロン	3区	中森集会所
大馬ふれあいサロン	3区	大馬改善センター
よつばサロン	4区	4区集会所
なごみサロン	5区	西部ふれあいセンター
八坂サロン	7区	西部ふれあいセンター
玉八サロン	8区	八区集会所
久寿サロン	9区、10区	婦人ホーム
TOBUサロン	11区	東部ふれあいセンター
遊遊サロン	12区	新田集会所
ホットふれあいサロン	13区	大山公民館
神仲ふれあいサロン	13区	神原田集会所
14サロン	14区	皿久保集会所
みのるサロン	14区	横堀平田地集会所
桐山サロン	15区	北部ふれあいセンター
竹の子サロン	16区	北部ふれあいセンター
子育てサロンスマイル		東部ふれあいセンター
健康マージャンサロン		大山公民館

村内のサロン活動
現在村内のふれあいサロンは20か所で開催されています。健康体操から各種講話、茶話会に季節行事など内容はさまざまです。元気に楽しく活動されています。1月30日(木)には代表者交流会を実施し、おすすめ企画を教え合ったり、次年度の内容を話し合ったりしました。

各地区のサロン情報
村内各地区で開催されているサロン名と開催場所です。お住いの地区のサロンへの参加が可能です。詳しくは大玉社協へお問い合わせください。



大爆笑佐藤勝夫先生の健康体操講座

大ボラタイム

大玉社協 ボランティアサポートセンター広報

目次

- 2・3 ページ: 第16回ボランティアフェスティバル実施報告
- 3ページ: ボランティアサポートセンターセミナー実施報告
- 4ページ: 村内のサロン活動、ボランティア保険のご案内

2019年黄色い軍手賞受賞者紹介

黄色い軍手賞とは、毎年大玉村ボランティアフェスティバルにて、常日頃ボランティア活動を頑張っている方へ贈られる賞です。今年度のボランティアフェスティバルでも個人・団体と1名1団体へ賞が贈られましたので、ご紹介します。

橋本 文幸 さん

橋本文幸さんは、長年森の案内人として、木の感触を感じながら、子どもの心の成長につながればと思いながら、村内の幼稚園や小学校で木を使った木工クラフトを教える活動をされており、今回受賞となりました。



シャローム大玉 さん

シャローム大玉さんは、昭和55年に障がいをもつ人も、もたない人も共に生きる社会と地域づくりを目指し、自分の能力や特技を登録し、会員として奉仕するボランティアグループです。この主旨に賛同するおおたま在住者で構成し、活動されています。施設の支援や、授産品の即売会の開催、仲間たちのコンサートを共に行っている団体です。



ボランティア活動保険のご案内

『ボランティア活動保険』

活動中に起こったボランティア自身のケガや他人の身体・財物に損害を与えたときに保証される保険です。

保険料：Aプラン1人年間350円/Bプラン1人年間510円

4月1日(途中加入の場合は申込完了日翌日)～3月31日1年掛け捨て

『ボランティア行事用保険』

ボランティアグループなどが主催者となる行事開催中に、参加者がケガをしたり主催者が賠償責任を負った場合に賠償する保険です。

保険料：Aプラン1人1日28円～/Bプラン1人1回241円～

※Bプランは宿泊付き行事 行事の実施日のみ掛け捨て

もしも！に備えてお早めの加入をお勧めします。

申込み・問い合わせ

大玉村社会福祉協議会 0243-68-2100



編集後記
昨年10月の消費税による消費の冷え込みは、前回の増税の時のそれと比較すると緩やかだったらしいのですが、本当だったのでしょうか？ここに来て新型コロナウイルス感染症が広がり、各方面で活動を自粛せざるを得なくなり経済に及ぼす悪影響は計り知れないものです。東日本を襲った台風と言ひ、雪がほとんど降らない冬と言ひ、人間の力ではコントロールできない自然とどう向き合ったらいいかと感じていたところ、今度は9年前の故郷と同じくまた「目に見えない敵」との戦いで不安がいっぱいです。人に接しない生活は送れないし、仕事は在宅勤務やテレワークを推奨すると言われてもそれが可能な方はどれくらいいるのでしょうか。人と密接に接しなければならぬ仕事もいっぱいあり、ただただ感染が広がらないこと・特効薬が見つかることを祈るばかりです。一人ひとりができる防衛を心がけて生活するしかありません。

学校が臨時休校となりましたが、3月・4月は卒業、入学のシーズンです。こんな緊急時を経験する子供たちの限らない希望と健康を願わずにはいられません。

運営委員長 藤田安宏

第16回ボランティアフェスティバル実施報告

令和元年11月23日(土)障がいのある人もない人も、世代を超えて、祭り(フェスティバル)を通じて一緒に地域福祉を創りあげることがを目的に、第16回ボランティアフェスティバルが大玉村ボランティアネットワーク主催で開催されました。大玉村ボランティアネットワークとは、大玉村内外で様々なジャンルでボランティア活動をしている団体や個人が、横のつながりを強めるために組織しているネットワークです。

今年度のボランティアフェスティバルでも午前中にクリーンアップ活動、午後は講演会・コンサートを実施しました。多くの方のご協力とご参加により無事に終えることができました。ありがとうございました。



当日は、朝から天気が悪かったにもかかわらずの72名の参加があり、2コースに分かれて、クリーンアップ活動を実施しました。回収したごみは総重量9.06kgでした。



熊田富美子氏による講演



あだたら和太鼓の体に響く勇壮な音色



ふれんどリー大玉さんの2020五輪音頭



今年度もバザーは大賑わい



美味しい食事をつくってくれました

午後は児童養護施設『森の風学園』園長の熊田富美子氏をお迎えし、『児童養護施設の子どもたちとともに生きる』の演題にての講演とあだたら和太鼓・玉井小学校合唱部・YOSAKOI おおたま・ふれんどリー大玉・手話サークルひまわり・コカリナくれよん・JAスポーツ民踊・浅和定次・サーチホアヘレ・サーチプルメリア・サーチハイビスカスの皆さんが出演しコンサートが大いに盛り上がりしました。



コカリナと優しい歌声に癒されて



一緒に歌って!



スポーツ民踊一緒にやらない?



思わず一緒に体が動いちゃう



素敵なハーモニーをありがとう



うっとり眺める癒しのフラダンス



各コーナーや模擬店参加の皆さんもお世話になりました。



オープンハウスのぞみ



手話サークル



みんなにっこり



シャローム大玉



ゆめこじ



無線クラブ

この他にも多くの参加協力がありました。

ボランティアサポートセンターセミナーを実施しました



先生との距離も近く質問が尽きない!

令和2年2月12日(水)に、乳幼児メディア・アドバイザー、カウンセラーの小木曾道子先生をお招きして『愛着形成・自己肯定感 スマホと家族はどう向き合うか』の内容でお話を伺いました。子育て真っただ中のお母さんや、子どもや家族に関わる職種の方の参加も多かったです。先生との距離も近くすぐにできるアドバイスをたくさんいただきました。参加者の方からは自分自身の振り返りになった。自分の子どもたちのスマホ利用時間が長いので参考になった。現在悩んでいる現状を回復できるお話が聴けて良かった。などなど多くの感想がありました。今後も皆さんと共有できる内容のセミナーや講座など企画してまいります。